　　　　　　　　　　　　　 　分科会役割分担表　　　　　　　　　　(敬称略)

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | **第１分科会** | **第２分科会** | **第３分科会** | **第４分科会** |
| 会場 | 熊谷スポーツホテル  パークウイング  「レジェンドホールA」 | 熊谷スポーツホテル  パークウイング  「レジェンドホールB」 | キングアンバサダーホテル  「キング」 | キングアンバサダーホテル  「プリンス＆プリンセス」 |
| 協議題 | 〈共通協議題〉  委員活動の継続・定着に向けた環境づくり  ～民児協に求められる機能とは～  地域の支え手である民生委員の担い手を確保し、その活動を継続させていくためには、誰もが無理なく関われる環境づくりが不可欠である。  就業と両立可能な体制整備や、役割の見直しによる負担軽減、民児協の支援体制強化など、活動の継続に向けた具体的な取り組みについて協議と情報共有を行う。 | 〈選択協議題〉  「こどもまんなか社会」の実現に向けた地域づくりと委員活動  地域全体で子どもを育む環境の整備は、地域の未来に関わる重要な課題であり、児童委員・主任児童委員への期待は一層高まっている。  教育や福祉など、関係機関との連携を強化し、「こどもまんなか社会」の実現に資する施策の推進について、各地域の取り組みをふまえ、協議と情報共有を行う。 | 〈選択協議題〉  「地域共生社会の実現」に向けたネットワークづくりと連携・協働の強化  認知症高齢者や単身世帯の増加など、多様化・複合化する福祉課題に対応するためには、包括的な支援体制の中で民生委員・児童委員の専門性を生かすことが重要である。  平時・災害時を問わず、企業やNPO等との新たな連携体制の構築に向けた取り組みについて、協議と情報共有を行う。 | 〈独自協議題〉  地域福祉の充実に向けた民児協の組織力向上と支援のあり方  複雑化する地域福祉課題に対応し、民生委員・児童委員がその役割を果たし続けるには、民児協の組織基盤強化と委員同士の支え合いが重要である。  班体制の工夫や協力員制度の充実による持続可能な体制の構築と、地域の理解促進を通じた担い手確保について、協議と情報共有を行う。 |
| 実践報告者 | 1. 神奈川県   村上　法芳   1. 栃木県   大竹　均   1. さいたま市   横田　明   1. 千葉市   水谷　洋子 | 1. 群馬県   狩野　百合子   1. 新潟県   渡邉　文代   1. 相模原市   馬場　眞由美   1. 静岡市   稲田　明善 | 1. 山梨県   有泉　みさを   1. 長野県   池田　鐘三   1. 横浜市   屋代　昭治   1. 浜松市   澤根　緑 | 1. 東京都   小川　育男   1. 茨城県   松本　幸雄   1. 川崎市   川本　佳奈子   1. 新潟市   丸山　澄江 |
| コーディネーター | 文京学院大学  人間学部人間福祉学科  教授  中島 修 | 明治大学  専門職大学院ガバナンス研究科  専任教授  大山 典宏 | 立正大学  社会福祉学部社会福祉学科  教授  新井 利民 | 田園調布学園大学  人間福祉学部社会福祉学科  副学長・教授  村井 祐一 |
| 運営責任者 | 埼玉県民児協  副会長  藤崎　　昇 | 埼玉県民児協  副会長  磯部　恒子 | 埼玉県民児協  副会長  芦澤　吉一 | 埼玉県民児協  副会長  志子田　健一 |